

## 第6回 まちづくり市民ワークショップ《いばらきMIRAIカフェ》ニュース

市民力で進めるまちづくり  
「めざすこと」「やるべきこと」を考えよう！

### ◆ 次第 ◆

(開会)

- はじめに
- グループワーク
- その他

(閉会)

日時：平成 25 年 11 月 2 日(土)、9:30～12:00

場所：茨木市役所南館 10 階大会議室



当日の会場の様子

第 6 回ワークショップは 58 人の方に出席いただきました。

前半の第 1 回～5 回のいばらき MIRAI カフェでは、総合計画づくりの参考にするため、10 年後のまちのあるべき姿を中心に議論しました。

後半の第 6 回～10 回では、「まちづくりを進める仲間づくり」や「協働のまちづくりの実践」に主眼を置いて取り組みます。「福祉・健康」「子育て・教育」「環境」「産業」「都市」「安全・安心」「文化・生涯学習」「つながり・協働」の 8 テーマに分かれて、10 年後の目標を設定し、その実現にむけて「自分たち市民ができる取組」を考えていきます。

なお、最終回の第 10 回には、発表会を予定しています。

### ◆第 6 回WSの内容

- 「10 年後」という「期間」を考えた時に、各班のテーマのもとで、自分たちとしてはどんな「まち」や「ひと」の姿を求めていくのがよいかを考え、「ひとつの目標」にまとめました。
- 続いて、「目標」に対して「私たちが主体となってどんなことをしていくべきか」、茨木市には、どんな「まちづくり資源(ヒト・モノ・コト)」があるかを考えました。

### ◆テーマごとの「10 年後の目標」

福祉・健康 「地域に関心を持てるまち」

1 班



○ 10 年後の目標を「地域に関心を持てるまち」としました。

○ 「やるべきこと」「まちづくり資源」について「ヒト」「モノ」「コト」の視点で考えを整理しました。

「ヒト」

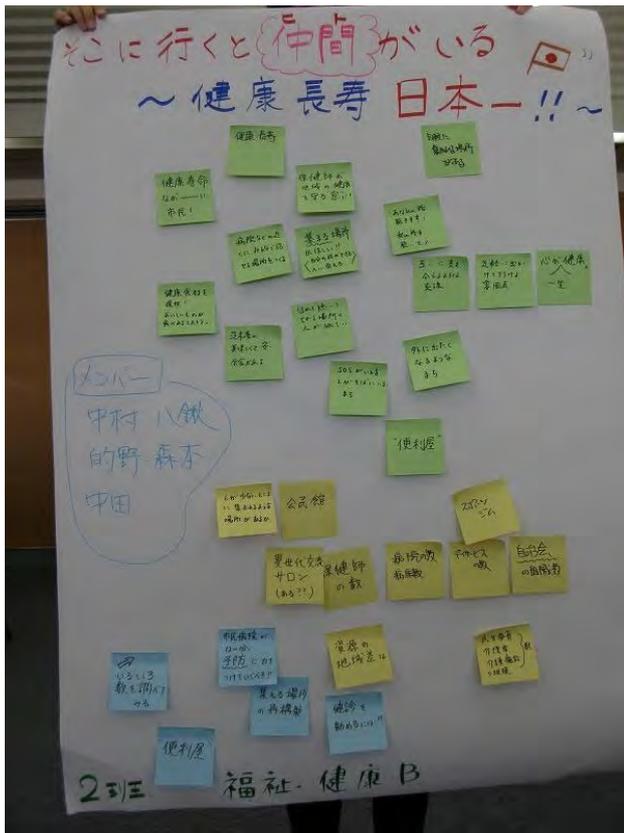
- ・ 若者とのつながり
- ・ 人材育成、次につなげる

「モノ」

- ・ コミュニティバス ・ 大学
- ・ 公民館・コミセン

「コト」

- ・ 情報発信 ・ あいさつ

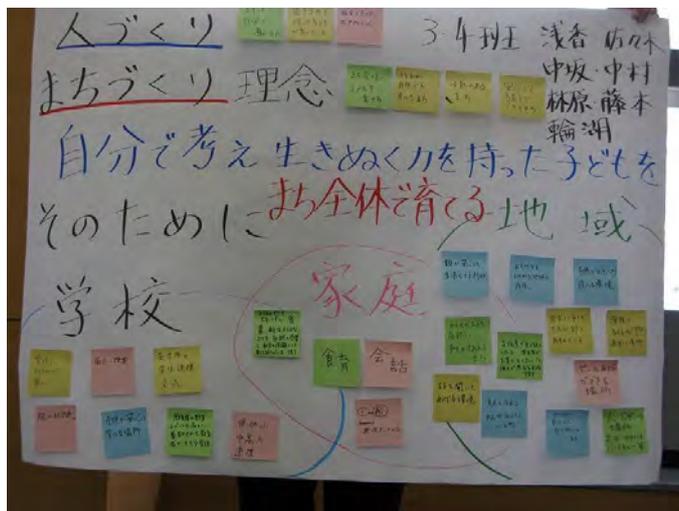


○ 10年後の目標を「そこに行くと仲間(ヒト)がいる～健康長寿日本ー!!～」としました。

○ 「やるべきこと」を考えるために「まちづくり資源」を整理しました。

「まちづくり資源」

- ・ 公民館
- ・ スポーツジム
- ・ 自治会の組織
- ・ 保健師の数(数字を把握する)
- ・ 資源の地域差があるのでは  
⇒具体的な数字を把握する必要がある。
- ・ 便利屋
- ・ 異世代交流サロン
- ・ デイサービスの数



○ 10年後の目標を「自分で考え生きぬく力を持った子どもをまち全体で育てる」としました。

○ この目標に対して「やるべきこと」を考えるための「まちづくり資源」を「文化」「自然資源」「人的資源」「環境整備」で整理しました。

「文化」

- ・ 保・幼・小、中・高・大連携
- ・ 茨木市の学生連携、交流
- ・ 学校に行くのが楽しい

「自然資源」

- ・ 北部の山間部
- ・ 里山
- ・ キャンプ場
- ・ 地元産農産物

「人的資源」

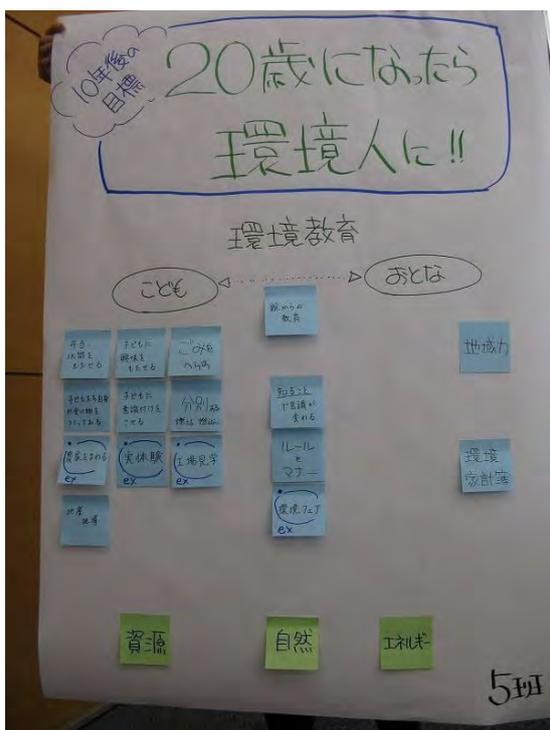
- ・ 大学生
- ・ 元気な高齢者
- ・ 地域での異世代交流

「環境整備」

- ・ 空家・空き店舗
- ・ 子どもの居場所づくり
- ・ 大学のホール
- ・ 体育館

## 環境 「20歳になったら環境人に!!」

5班



○ 10年後の目標を「20歳になったら環境人に!!」としました。

○ 「やるべきこと」を考えるための「まちづくり資源」「取り組みアイデア」を「子ども」と「おとな」の視点で整理しました。

### 「子ども」

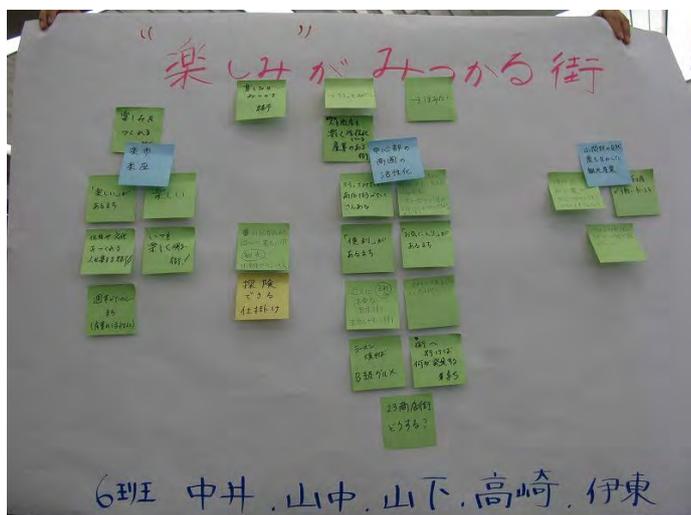
- ・ 弁当、水筒を持たせる
- ・ ごみを減らす ・ 分別をする
- ・ 地産地消
- ・ 農家をみてまわる
- ・ 体験 ・ 工場見学

### 「おとな」

- ・ 環境家計簿
- ・ 地域力

## 産業 「“楽しみ”がみつかる街」

6班



○ 10年後の目標を「“楽しみ”がみつかる街」としました。

○ 「楽市楽座」「中心部の商圈の活性化」「山間部の自然・農を生かした観光産業」の視点から、この目標を考えました。

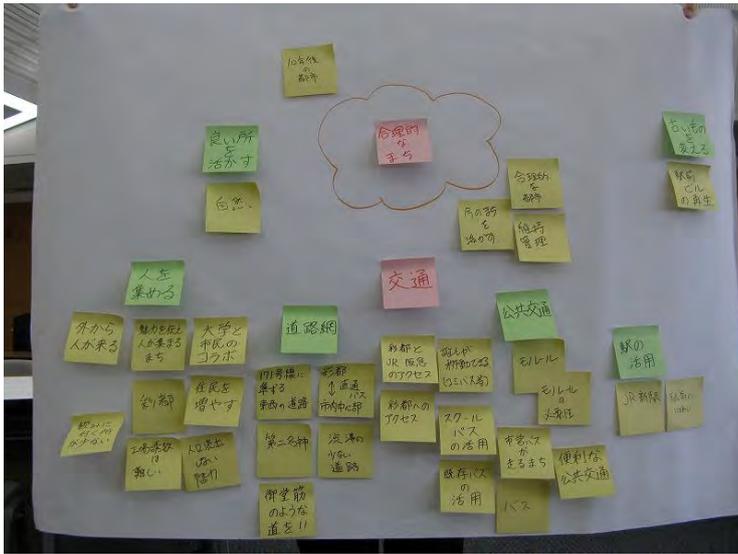
### 「楽市楽座」

- ・ 楽しみをつくれる
- ・ 週末がたのしいまち
- ・ いつも楽しく明るいまち
- ・ いろいろな人が遊びにくる楽しいまち
- ・ 探検できる仕掛け

### 「中心部の商圈の活性化」

- ・ 23商店街をどうする？
- ・ 街へ行けば何か発見するまち
- ・ ラーメン、焼きそば、B級グルメ
- ・ 「お気に入り」があるまち
- ・ 「便利」があるまち

「山間部の自然・農を生かした観光産業」  
・ 茨木市産を手に入れることができる。



- 10 年後の目標を「合理的なまち」としました。
- 「やるべきこと」を考えるために、「まちづくり資源」「取り組みアイデア」を「人を集める」「良いところを活かす」「道路網」「公共交通」「駅の活用」「古いものを変える」の視点で整理しました。

「人を集める」

- ・ 外から人が来る
- ・ 大学と市民のコラボ
- ・ 住民を増やす

「道路網」

- ・ 渋滞しない道路
- ・ 国道171号に準ずる東西の道路
- ・ 第二名神 ・ 御堂筋のような道

「駅の活用」

- ・ JR 新駅

「古いものを変える」

- ・ 駅前ビルの再生

「公共交通」

- ・ 彩都と阪急のアクセス。彩都へのアクセス
- ・ スクールバスの活用
- ・ モノレールの活用、モノレールの必要性
- ・ 市電、バスが走るまち ・ 便利な公共交通



- 10 年後の目標を「誰もが安心して暮らせるまち」としました。
- 「やるべきこと」を考えるために「まちづくり資源」「取り組みアイデア」を「地域力」「地域活動の活性化」「交通・立地」「情報」「若者の参加」の視点で整理しました。

「地域活動の活性化」

- ・ 27万人の人間
- ・ 若者が集まる魅力の会に
- ・ 行事と訓練
- ・ 各自治会での活動部隊、設備設置、ネットワーク
- ・ 認知活動→参加者を増やす
- ・ 地域防災マップの作成
- ・ 小中学校からの防災教育

「交通・立地」

- ・ 交通の便 他市からの
- ・ 京都、大阪、神戸に対する地の利
- ・ 道路、鉄道間の利便性

「若者の参加」

- ・ 若者が先頭の安全
- ・ 自治会を消防団、青年団に変える

「情報」

- ・ 市民相互の情報リストが必要
- ・ 情報公開

「地域力」

- ・ 地域防災・防犯活動への主体的参加
- ・ 自主防災組織

文化・生涯学習「元気!! 活気!! それゆけいばらき!!」

9班



- 10年後の目標を「元気!! 活気!! それゆけいばらき!!」としました。
- 目標を考えるにあたり、様々な意見が出されました。  
(目標設定にあたっての意見)
  - ・ 大学の街 茨木
  - ・ 無限の可能性を信じあえる
  - ・ 市民 みんな ひとつの家族
  - ・ みんなが趣味をもっているまち
  - ・ 世代間の交流があるまち
  - ・ 茨木の人に「茨木の文化」と言ってもらえるまち
  - ・ 元気なおじいちゃん、おばあちゃんがたくさんいるまち
  - ・ アートがまちをうめつくすまち
  - ・ 寺子屋的 市民による市民の大学
  - ・ 活力のあるまち
  - ・ 国際都市茨木
  - ・ 「茨木と言えば○○」といえる
  - ・ 多くの人に参加しやすい生涯学習やスポーツ

つながり・協働「一人ひとりの役割分担!」

10班



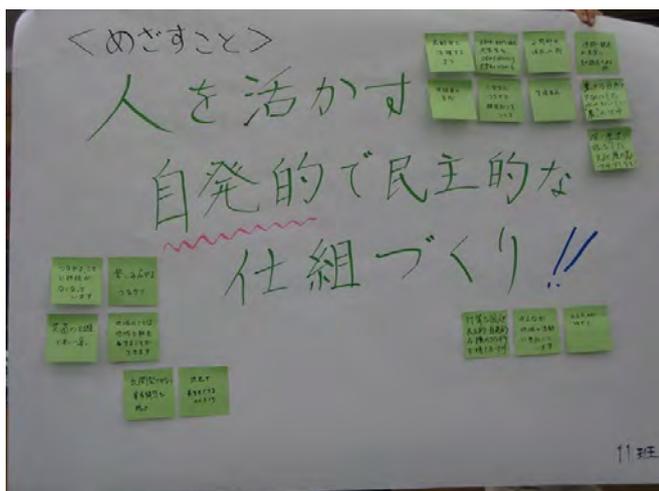
- 10年後の目標を「一人ひとりの役割分担!」としました。
- 「やるべきこと」を考えるために「まちづくり資源」「取り組みアイデア」を「茨木外への発信」「人と人とのつながり」「地域のつながり」の視点で整理しました。  
「茨木外への発信」
  - ・ 古墳、キリシタン遺跡
  - ・ 茨木のよさをみんなが知っている(共有している)
  - ・ 休日が楽しめるまち
  - ・ 観光案内所がない
  - ・ 他市から人の呼び込み。市の活性化
  - ・ 茨木観光案内ができる人

「人と人とのつながり」

- ・ ネットワークづくり
- ・ 安心して生活できる
- ・ 孤立する人がいない
- ・ 年代別に相談できる窓口
- ・ 地域での活動のきっかけを持つ人がいない

「地域のつながり」

- ・ 参加型イベントの定番(無理のない)
- ・ 茨木の中での地域性!
- ・ 地域のイベントが盛り上がっている



- ・ 高齢者も活躍するまち
- ・ 豊かな自然を大切にされた水のおいしい“農”のマチ
- ・ 深い歴史に根ざした文化度の高いマチづくりを！
- ・ 山間部を活用した街
- ・ 生活自立

○ 10 年後の目標を「人を活かす 自発的で民主的な仕組づくり!!」としました。

○ 目標を考えるにあたり、様々な意見が出されました。

(目標設定にあたっての意見)

- ・ つながることに抵抗がなくなっています
- ・ 共通の話題 楽しい
- ・ 地域のことは地域で解決することができます
- ・ 乱開発させない基本構想を持って
- ・ 地元で続けられる環境
- ・ 対等な個人が民主的、自主的な横のつながりをもてるまち
- ・ みんなが地域の活動に参加しています
- ・ 人と人とのつながり
- ・ 小学生のうちから顔見知りをつくる
- ・ 後継者の育成
- ・ 大学等を活かす街づくり

## 感想

- ・ テーマを絞って討論ができたのはやっぱり深くなってよかった。
- ・ テーマが具体的なので考えやすかった。
- ・ せっかく良い資源があるのに、情報発信がしっかりとできておらず、認知されていないことがたくさんあることがわかった。
- ・ 改めてテーマ別に分かれて話をすると、より具体的な話がたくさん出てきて、1つにまとめるのが難しかったです。
- ・ 次も楽しみ!
- ・ 今後の方向性についての説明があつてよかった。毎回、随時、少しでもよいので説明を加えてもらえるとわかりやすいと思う。
- ・ グループの固定化で内容充実、レベルアップしていくと思う。
- ・ 若い方の発想が新鮮でした。
- ・ このワークショップの最終が「はじまり」になるようにいろいろな場が広がればいいと思います。
- ・ 進行をよりスムーズにリードしてほしいです。
- ・ 目標をまとめていく作業は難しかったです、結果的に全員が納得するものができてよかったです。



## ◆次回(第7回)の予定

○日時:11月24日(日)9:30~12:00、場所:茨木市役所南館10階大会議室



発行:いばらきMIRAIカフェ事務局(茨木市企画財政部政策企画課 Tel072-620-1605)

ホームページ <http://www.city.ibaraki.osaka.jp/mirai>

Facebook ページ <https://www.facebook.com/ibaraki.mirai.project>